

RI（脳血流シンチ）検査の予約票

予約日時	年 月 日 () 時 分 予約
患者氏名	

◆ 検査目的

¹²³I-IMPというR I 検査薬を注射して、脳梗塞や脳腫瘍など、脳の血流の状態を調べることができ、脳変性疾患の代表である認知症やパーキンソン病などを調べる検査です。

◆ 検査当日

予約時間 **10分前** までに**紹介患者専用カウンター** までお越しください。

◆ 食事や、服用薬に関すること

食事制限はありません。

薬を服用中の方は、特に医師からの指示がない限り、通常どおり内服してください。

◆ 検査のながれ

検査ベッドに静かに横になり、**約45分間**です。

検査中は開眼していると、脳の一部分にだけR I 検査薬が集まってしまうため、目隠しをして閉眼で行います。

◆ 検査後

注射したR I 検査薬は尿として排泄されますので、水分を十分に摂って排尿して下さい。

- 当日のみ有効な検査薬を取り寄せて使用するので、急な日時変更・中止はご遠慮ください。
- やむを得ない事情により来院できない場合は、速やかに画像診断部へご連絡ください。
- 連絡なく来院されない場合は、実費を請求させていただく事もありますのでご了承ください。

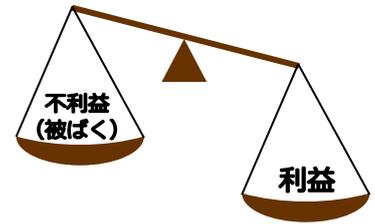
JA 広島総合病院 0829-36-3111

RI 検査の医療被ばくに関する説明書

◆RI検査の正当化(必要性)について

RI検査とは、微量の放射線を放出する放射性同位元素(RI)を体内に投与しSPECT装置で撮影することで、病気を診断したり、臓器の働き具合(機能)を調べたりする検査です。

放射線を用いた検査は、被ばくによる不利益よりも、検査によって得られる利益のほうが十分に大きいと判断される場合に実施します。



◆放射線と発がんについて

*ミリシーベルト(mSv)とは放射線量の単位。

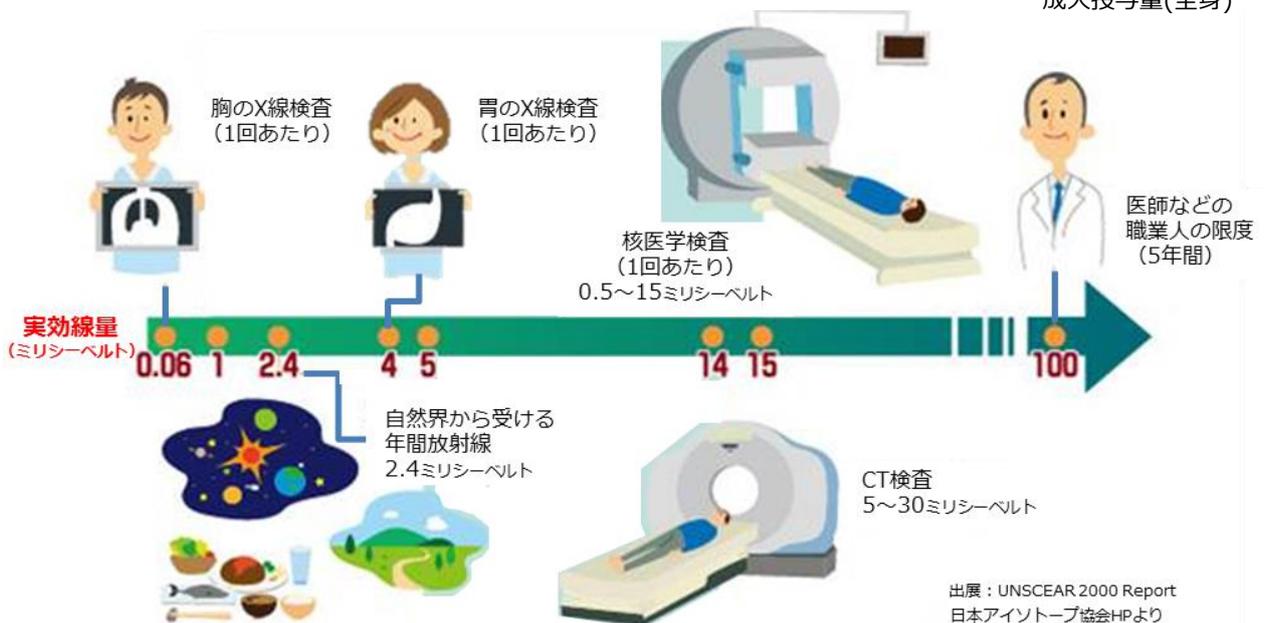
一般的には100ミリシーベルト以下の放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられています。放射線は無害ではありませんが、実際には、大気汚染、生活習慣(喫煙・大量飲酒・運動不足)ストレスなど、日常生活の様々な影響の方が大きくなるため、核医学検査での放射線による発がん率の増加は確認されていません。

◆RI検査の放射線量の最適化について

当院では、関連学会のガイドラインをもとに最適な条件で検査を行い、放射線による被ばくを必要最小限にすることを実践しています。また、検査によって受けた被ばく線量を記録管理し、関連する職員に対して医療放射線に関する研修を行っています。

RI検査	当院のRI被ばく線量 (mSv)
骨シンチ	3.6
脳血流シンチ	7.1
心筋シンチ	1.4
その他	0.5~33.0

成人投与量(全身)



RI検査の依頼票

検査	脳血流シンチ
予約日時	年 月 日 () 時 分 予約
フリガナ 患者氏名	

RI 検査の同意書

JA広島総合病院 病院長殿

私は貴院にて RI 検査を受けるに当たり、

- ・ 検査について
- ・ 医療被ばくについて

上記の説明を受け、診療上必要であると理解しましたので、検査の実施に同意致します。また、検査中に緊急の処置を行う必要が生じた場合、処置を受けることについても同意致します。

説明日 年 月 日 説明医師署名

同意日 年 月 日 患者氏名

代筆者氏名 (続柄)

患者家族又は
代理人氏名 (続柄)